

## 平成 27 年度のまとめ

校長 山上明司

平成 27 年度も数週間を残すのみとなりました。来週はいよいよ卒業式です。年度末にあたって、今年度の培良中学校を様々な角度から考えてみたいと思います。1月にお願ひした学校評価アンケート（生徒アンケート、保護者アンケート）やその他の調査結果等も参考にしました。学校評価に関わるアンケート結果集計は後日ホームページに掲載します。

アンケートの全体的な傾向としては、生徒、保護者とも、各項目で高い評価をいただきました。しかし、生徒アンケートでは、いくつかの項目で、昨年度より評価がやや下がっています。保護者アンケートでは、「部活の充実」に関わる項目以外、全項目で昨年度よりさらに高い評価をいただきました。うれしい反面、さらに期待に応えたいという良い意味でのプレッシャーも感じています。部活に関しての評価は、昨年度ハンド部の全国優勝という特別な事情があったためとも考えられますが、期待に応えられるよう、部活動全体をもう一度見直します。

### 学習について

授業中、静かに落ち着いて授業に取り組んでいました。そして、『培良学習スタンダード』に沿って、ベル準や挨拶等が規律正しく行われていました。また、積極的に手を挙げて発表し、グループで話し合ったり、まとめた意見を前に書いて披露したり、大型テレビを利用するなど、積極的に授業に参加する姿が印象的でした。生徒アンケートでも「授業はわかりやすい。」という質問に、昨年同様 84%の生徒が肯定的に評価し、「学習等について、一人一人にわかるような手立てをしている。」という質問に、69%の生徒（昨年は 67%）が肯定的に評価しています。「授業の始めの『めあて』の提示」では、91%の生徒が（昨年 86%）肯定的に評価し、『培良学習スタンダード』による授業改善が進んでいます。さらに保護者アンケートでも、「子どもは、授業が分かりやすいと言っている。」という項目に、72%の保護者（昨年は 70%）が肯定的に評価していただいています。

また、今年度、家庭学習のための自主学習ノートを徹底したところ、ご家庭のご協力もあり、「平日、家庭学習をしないか、しても 30 分以下の生徒」が 6%にまで減りました。（昨年 16%）さらに「1 時間以上学習する生徒」が、昨年の 49%から 62%へと増えました。

今後は、教員の授業改善を進め、さらにどのような授業の受け方が効果的なのかを指導し、家庭学習の質の向上に努めたいと思います。

読書についても、朝の 10 分間、全校が静寂の時を迎える朝読書は、本校の朝の風物詩になりました。生徒アンケートでも、「読書に親しむ機会」を、87%の生徒が（昨年 86%）評価し、保護者アンケートでも「読書に親しめる機会」を、87%の保護者が（昨年 83%）高く評価していただいています。

### 生活全般について

今年度、大きな事故や事件等なく、生徒はしっかりと規範意識を持って生活をしています。全校集会時も、教員に注意されることなく素早く集合・整列し、全校生徒がそろろう体育館が、集会中まったくの私語なく、集中して話が聴ける素晴らしい状態を作り上げています。行事も、府内の先生方に学校を公開した研究発表会、体育大会、文化発表会と、生徒諸君の頑張りもあり、大成功に終わりました。その基盤には、本校がこの数年力を入れてきた道徳教育があります。生徒アンケート

でも、「道徳の時間はいろいろ考えられる。」という項目に83%の生徒が（昨年80%）肯定的に答えています。道徳で扱った題材や生徒の意見を、通信等でご家庭にも返しています。ぜひ、親子で話題にしてください。

保護者アンケートでは、「学校はいじめや暴力行為、不登校などの問題によく対処している。」という項目に70%の方が（昨年58%）肯定的に評価していただいています。また、「学校は子どものことで適切に相談に応じてくれる。」も81%の方が、（昨年76%）肯定的に評価いただいています。年々、学校が信頼を高めていることは素直にうれしく思っていますが、さらに期待に応えられるよう努力する所存です。

### 「いじめ」指導について

「いじめ」に関しては、1・2学期全員を対象にした「いじめアンケート」と、一人一人に対する教育相談を中心にして早期発見・早期解決に取り組んでいます。調査では、「ひやかしやからかい」「軽くぶつかられる」など数件のいじめがわかり、早期対応をし、現在は一定の解決を見えています。「いじめ」に関しては、教職員の指導だけではなく、いじめを起こさない、また、起こっても自分たちで解決していける生徒の集団の力も大切です。その意味で、生徒会が一昨年に創った「いじめ追放宣言」の精神を活かしていくことが大切になります。生徒アンケートでは「いじめ追放宣言を実践している。」と答えた生徒は、78%で、この数字を限りなく100%に近づけていくことが大切だと考えています。また、今年度生徒会が作った「スマホネット宣言」の実践は59%に留まり、スマホの使用時間や書き込みの内容等に、なお、課題があると考えています。

### その他

生徒アンケートで「学校が楽しい」と答えた生徒が81%と、昨年に比べ減りました。「生徒会活動への関心」「ボランティア活動への参加」等も昨年に比べ減っています。原因を絞ることは難しいですが、学校が子どもたちにとって魅力のある、登校し甲斐のある場所であり続けるよう、学校を見直す必要を感じています。

また、先日の学校評議員さんとの懇談の中でも、培良中生徒が真面目に学校生活を送っていることを高く評価しつつも、中学生の地域行事への参加が極端に少ないなど、地域への関心が薄らいでいる点をさみしく思われているコメントをいただきました。各種調査でも、培良中生はニュース等、世の中の動きや自分の住む地域への関心が薄いことがわかっています。来年度以降、世界や地域に関心を呼び覚ます取組を考えたいと思います。

保護者アンケートで、「教育の目標や方針をわかりやすく伝えている」という項目に78%の肯定的な評価（昨年72%）をいただきましたが、一方で「学校のホームページを良く見ている。」は30%に留まっています。頻繁に学校のニュースを更新し、折々に学校の方針も伝えています。ぜひご覧ください。

他にも、アンケートやご意見など様々なご示唆をいただきました。スペースの関係もあり、すべてには触れていませんが、貴重なご意見を今後の学校経営に活かしていきたいと思っています。1年間、培良中学校の教育への深いご理解と厚いご支援に感謝いたします。